

「ASEAN連結性の強化と日・ASEAN
 「ASEAN Connectivity: Sharing Prosperity be
共催：ASEAN事務局、社団法人日本経済団体連合会、独立行政
 機構：外務省、財務省、経済産業省、国土交通省、独立行政法



今年9月に東京で開催されたASEAN、経団連、JICAによる合同シンポジウムでヌラ・スワジャヤASEAN連結性調整委員会委員長(左)と談笑する坂根さん

ASEAN地域全体の発展と、 日本との関係強化に貢献したい

ASEANを一つの地域としてとらえた支援を始めるために新設された「計画・ASEAN連携課」。カンボジアやインドネシア事務所へ赴任経験もある坂根宏治課長は、日本との関係も重視しながら支援を進めている。

「同

じ時代に、こんな世界があつていいの。高校生の時、ニュースで飢餓に苦しむエチオピア難民を見て衝撃を受けました。目にたかるハエを追い払う力もなく死んでいく孤児、死にゆくわが子に寄り添うことしかできない母親。自分に何かできることはないか。それが国際協力に関心を持つきっかけでした。大学時代にはNGOに所属し、ソマリアのエチオピア難民キャンプやタイのスラムへの支援活動に参加。ライフワークとして途上国支援に携わってきたいと思ひ、JICAに就職しました。

印象に残っているのは、3年目で配属となったカンボジア事務所です。内戦が終わったカンボジアに援助が再開された時期で、開設されたばかりの事務所のJICA職員は所長と私だけでした。所長が不在のときは、所長代行として会議に出席しJICAの意見を述べる必要がありました。経験が浅い中、無我夢中で道路、橋、電気、水道などのインフラ整備や技術協力案件の立ち上げに携わったことは貴重な財産となっています。

その後、国際緊急援助隊事務局、国連日本代表部への出向などを経て、インドネシア事務所に赴任。日本のインドネシアへの支援は50年以上も続くもので、その歴史の重みを感じました。至る所で「JICAの研修で日本に行った」、「日本の専門家と一緒に仕事をした」という話を聞き、インドネシアの

人々の心の中にJICAの協力が息づいていくことを知りました。先輩方が築き上げたこのような信頼関係を途切れさせてはいけない、次の世代に受け継いでいかなければいけないと感じました。

今年4月からは、新設された「計画・ASEAN連携課」に配属されています。これまでJICAのASEAN地域に対する支援は、インドネシア、フィリピン、タイなど、国を単位として行ってきました。しかし、より大きなインパクトを出すには地域全体を見る視点も重要です。またASEANは2015年には経済統合をします。この流れにも対応する必要があります。こうした新しいニーズに応えていくことが当課の役割だと思っています。

現在、ASEANは経済成長率が5%を超え、中所得者層が増加し、目覚ましい変化を遂げています。その過程で、国の発展や環境変化に応じたインフラ整備が求められているほか、格差や雇用、少子高齢化など、新たな課題も発生しています。一方で、ASEANの日本に対する信頼と親近感は深く、東日本大震災では、ASEAN各国から多くの支援を受けました。インドネシアでは、私が知っている日本留学経験者たちが日本のためジャカルタの目抜き通りで街頭募金してくれました。ASEANは日本を非常に身近で信頼できるパートナーと考えてい



JICA 東南アジア・大洋州部
 計画・ASEAN連携課 課長

坂根 宏治
 SAKANE Koji

1991年JICAに就職。カンボジア事務所、国際緊急援助隊事務局、国連代表部出向、理事長室、インドネシア事務所、東南アジア第二部(カンボジア担当)などを経て、2011年4月から現職。

ます。ASEANの日本に対する親近感、日本人がASEANに対して抱くもの以上に大きいのではないかと思います。

日本も、高齢化、経済停滞、食料・エネルギー問題など将来にさまざまな課題を抱えています。国と国との相互依存関係が深まってくる中で、他国の成長と安定は、日本の成長と安定にとっても非常に重要です。地理的にも近いASEANは、これから以上に重要なパートナーになるはず。変革のさなかにあるASEANが抱えるさまざまな課題に対し、タイムリーに効果的な支援を行っていくこと、そしてASEANと日本双方が繁栄と安定を享受できる環境を作っていくことは、現在、そして将来に向けてとても大事だと思っています。日本と世界をつなぐ上で、JICAにはこれまでに築いた人的ネットワークと協力の経験があります。これをさらに生かすべきです。JICAの仕事を通じて、そのようなニーズに応えていきたいと思ひます。



2009年10月、インドネシア事務所在勤時にバダン沖地震が発生し、国際緊急援助活動に対応する坂根さん